

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	言語と文学	
科目基礎情報							
科目番号		5197A03		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		専攻科共通		対象学年	専2		
開設期		後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材		高専日本語アビリティⅡ（阿南高専）					
担当教員		錦織 浩文					
到達目標							
1. 社会的テーマについて、エビデンスを明示して意見を述べることができる 2. 代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について説明できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベル（優）		標準的な到達レベル（良）		最低限の到達レベル（可）	
評価項目1		社会的テーマについて、信頼性の高いエビデンスを明示して訴求力をもって意見を述べることができる。		社会的テーマについて、信頼性の高いエビデンスを明示して意見を述べることができる。		社会的テーマについて、エビデンスを明示して意見を述べることができる。	
評価項目2		代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について自分の考えを加えて適切に説明できる		代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について適切に説明できる		代表的な和歌文学についての時代背景を理解し、その表現の特徴、文化的価値について説明できる	
学科の到達目標項目との関係							
A-1 C-2							
教育方法等							
概要		社会的テーマについて、適切な計画を立てて調査し、信頼性を考慮してエビデンスを示し、プレゼンテーションスキルなどの訴求力をもって意見を述べることができる能力を培う。 日本文学の作品と表現を中心的対象として、著者および作品の執筆された時代背景、作品の表現・構成、表現効果などの観点から主題を理解する能力を培う。 これらの理解を伝え合う経験を通して、論理的な理解とコミュニケーションの能力、主体的表現、合意形成の力を深める。					
授業の進め方・方法		事前・事後学修としてレポートを課す。 【授業時間30時間＋自学自習時間60時間】					
注意点		日本語総合、日本語の表現を履修していることが望ましい。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	社会的テーマの選択		ブレンストーミング法やKJ法を用いて、社会的テーマを選択できる		
		2週	社会的テーマについての調査		Web等を活用し、信頼性を考慮してデータを収集し、意見をPPTにまとめることができる		
		3週	社会的テーマについての調査		Web等を活用し、信頼性を考慮してデータを収集し、意見をPPTにまとめることができる		
		4週	社会的テーマについての意見共有		PPTを用いたプレゼンテーションをふまえて意見を共有し、調査方法・エビデンス・訴求力について相互に助言できる		
		5週	社会的テーマについての意見共有		PPTを用いたプレゼンテーションをふまえて意見を共有し、調査方法・エビデンス・訴求力について相互に助言できる		
		6週	エビデンスを明示した意見表出		学習を通して捉えた内容を文書にまとめることができる		
		7週	エビデンスを明示した意見表出		学習を通して捉えた内容を文書にまとめることができる		
		8週	中間試験		学習のまとめ		
	4thQ	9週	万葉集（雑歌）		万葉集の雑歌の特徴を理解し、これを踏まえて実作できる		
		10週	万葉集（相聞）		万葉集の相聞の特徴を理解し、これを踏まえて実作できる		
		11週	万葉集（挽歌）		万葉集の挽歌の特徴を理解し、これを踏まえて実作できる		
		12週	万葉集（東歌・防人歌）		万葉集の東歌・防人歌の特徴を理解し、これを踏まえて実作できる		
		13週	古今集と新古今集		古今集、新古今歌集の歌の特徴を理解し、これを踏まえて実作できる		
		14週	近代・現代短歌		代表的な近代・現代短歌の意味を理解し、これを踏まえて実作できる		
		15週	近代・現代俳句		代表的な近代・現代俳句の意味を理解し、これを踏まえて実作できる		
		16週	答案返却		学習のまとめ		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週

評価割合						
	中間・期末試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	10	0	0	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	10	0	0	10